

福祉サービス第三者評価

〔令和5年度〕

評価結果報告書

株式会社MIRATZ
MIRATZ白山保育園

評価機関 有限会社エテルノ

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>（理念）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来の希望に向かって発展・向上する明るい元気な子どもを育む ・心豊かなエコ環境と優しい地域社会に生き生きと共存する子どもを育む ・みんなを親愛し、太陽のように温かい子どもを育む <p>（方針）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働く女性をサポートし、子どもがいても安心して働ける社会づくりに寄与する価値のある組織を創造する ・未来を担う子どもたちの為に「Atoz（＝何から何まで）お任せいただける組織を創造する ・地域の子育て家庭をサポートするために有益な情報交流発信の役割を担う組織を創造する <p>（目標）</p> <p>MIRATZ白山保育園 保育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心して生活できる環境の中で様々な欲求を満ち、生命の保持及び情緒を図る ・健康な心と体を育てる ・豊かな感性や表現力・創造性の芽生えを育む <p>（ビジョン）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で最も貢献する組織・職員が最も輝ける組織 ・地域で最も愛される組織
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>（1）職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優しく落ち着いたふるまい ・個々のお子様に寄り添い見守り必要な際は手を差し伸べる ・否定的な言葉を極力避けながらお子様に接して行く ・職員同士の苦手部分をお互いに補いながら良好な関係を築いていく <p>（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お子様を日々お預かりするにあたり自分の言動や行動がお子様の成長や精神面に大きく影響することを自覚する ・お子様の楽しい経験と危険は常に隣合わだという事を随時念頭に置き、排除したり行動を規制することのないように安全な経験をさせていく ・担当業務についても積極的に行き責任を果たしていく

調査対象	保育園に通っている園児13世帯11人に対して調査を行った。同一保育園に2名以上の園児を預けている場合には、年齢の一番低い園児に対して回答して頂いた。
調査方法	保護者にはウェブ調査回答用URLおよびQRコード、IDを配付して、回答をウェブ上で収集した。外国語世帯のみ調査票の直接郵送にて回収した。結果は選択式・自由記述式ともに園に報告し、自由意見には回答者の匿名性に配慮した処理を適宜行った。
利用者総数	11
利用者家族総数(世帯)	13
共通評価項目による調査対象者数	13
共通評価項目による調査の有効回答者数	9
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	69.2

利用者調査全体のコメント

総合的な感想として園に対する満足度は、「大変満足」66.7%、「満足」33.3%の計100.0%であった。向上または検討を望む意見としては、保護者とのコミュニケーションに関することや保育内容、職員の子どもや保護者への対応、設備に関する事など、回答者個々の考え方や気になる点が寄せられている。設問別では、「心身の発達」「興味や関心」「食事」「自然や社会との関わり」「保育時間の変更」「安全対策」「行事日程」「信頼関係」「整理整頓」「接遇」「病気やけが」「トラブル対応」「気持ちの尊重」「保育内容の説明」などの17問中14問が80%以上の支持を得ている。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	9	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、「先生やお友だちの刺激を受け、できることも増えました」という声が寄せられていた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	9	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	8	0	1	0
「はい」の回答は88.9%、「いいえ」の回答は11.1%であった。 自由意見では、「給食、おやつはほぼ毎日完食しており美味しいようです」という声が寄せられていた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	9	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	8	1	0	0
「はい」の回答は88.9%、「どちらともいえない」の回答は11.1%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	8	1	0	0
「はい」の回答は88.9%、「どちらともいえない」の回答は11.1%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	8	1	0	0
「はい」の回答は88.9%、「どちらともいえない」の回答は11.1%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	8	1	0	0
「はい」の回答は88.9%、「どちらともいえない」の回答は11.1%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	9	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	9	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	9	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	8	1	0	0
「はい」の回答は88.9%、「どちらともいえない」の回答は11.1%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	9	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	7	2	0	0
「はい」の回答は77.8%、「どちらともいえない」の回答は22.2%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	9	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、「1日の様子を連絡帳に詳しく書いてくれています」という声が寄せられていた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	7	2	0	0
「はい」の回答は77.8%、「どちらともいえない」の回答は22.2%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	6	2	1	0
「はい」の回答は66.7%、「どちらともいえない」の回答は22.2%、「いいえ」の回答は11.1%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <input type="radio"/>非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <input type="radio"/>非該当
	カテゴリ1の講評	
	保育園の理念と目標の実現に向けた情報発信と共有の取組が行われている 事業所が目指す目標の実現に向けて、入園希望者への受け入れとともに、園のしおりを発行し、保育理念を示している。さらに、園のポスターやホームページ、SNSを通じて、さまざまな情報を発信している。園の目標と保育目標は、園のしおりに掲載され、入園時に説明している。また、運営委員会や保護者会でもこれらの目標について説明している。これらの情報は、玄関や園内にも分かりやすく掲示されている。このように、保育園は情報の透明性とアクセシビリティを重視している。	
	保育のビジョンと目標に向け、共通意識の形成から目標の実現を促進させている 経営層の役割と責任の伝達は職員事務所に勤怠管理タブレット近くに確認できるよう掲示し、職員会議で説明し理解を深める取組が行われている。経営層のリーダーシップと具体的な働きかけは、保育理念や目標の実現に向けた自らの役割と責任に基づいて、体制を組み、共通意識の形成や環境の整備などを含め、事業所をリードするための具体的な働きかけを行っている。年度当初に事業所の明確な目標を打ち出し、職員に周知し、年度を通し実現に向けた問題点を解決できるよう会議や勉強会を行っている。	
	重要な案件に対する効果的な対応と全員が参加する意思決定プロセスを確立している 意思決定の内容と経緯の理解は、全職員が理解し納得できるような説明が行われている。急ぎの案件については、随時個々の説明を行い、周知している。保護者との要望や子どもに関する案件については、園内で園長主任を中心に、担当職員との相談により決定が行われている。意思決定の内容の伝達は口頭、掲示、連絡帳システムを通じて情報が配信され、保護者会や行事の時期が近い際には、その際に説明が行われている。	

2		カテゴリー2	
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行			
サブカテゴリー1(2-1)			
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(2-2)			
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評			
<p>利用者職員との意向把握に対する包括的なアプローチが行われている</p> <p>利用者の意向については、送迎時の会話や連絡帳・保護者個人面談などを通じて把握している。また、行事終了後、年度末、通園後にアンケートを行い、利用者の希望や意向・苦情などの内容を分析している。今年度は保護者アンケートの意見よりおむつの定額サービスを取り入れている。事業所運営に対する職員の意向を把握の面では、年3回の職員面談で行っている。その際は、会議にて全員が意見を述べることができるように事前に会議内容などを周知している。</p> <p>昨年度の反省を踏まえた保育事業の中長期計画を策定している</p> <p>事業経営を長期的視野に立って進めるために、事業所の運営状況の把握や園内で使いやすいように中期事業計画書に整理しているが、定性化された目標が多く、定量化されている目標は少なかった。理念の具現化に向けた中・長期計画であり、年度の事業計画に反映されている部分もあるが、さらに具体化して全職員での取組が期待される。どのようなことをどのくらいの期間を設けて実施していくかについて再度考えてほしい。</p> <p>地域レベルでの情報把握と分析による保育・福祉の質の向上に取り組んでいる</p> <p>地域レベルや福祉・保育全般に関する情報の把握と分析については、地域の民生児童委員や近隣の保育施設園長を第三者委員に加え運営委員会に招きご意見を頂いたり地域の情報収集を行っている。また、近隣の福祉施設との交流など、勤労感謝の日にはお世話になっている地域の方に日頃の感謝の気持ちを伝えるに行っている。業界全体の情報は行政や各種メディアから得て、重要かつ必要な情報は会議やミーティングで周知、共有を図っている。また、行政の連絡を確認し運営している。情報により改善点が発生した際にはさらに情報を収集し改善を行っている。</p>			

3 カテゴリー3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリー1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー3の講評

透明性の高い組織運営と子どもの権利尊重に向けた保育園の取組が行われている

守るべき法律、規範、倫理等については、法人の運営規則、個人情報保護制度、守秘義務規程、サービス規程等が制定されている。透明性を確保するための組織運営として、法人の園長会や監査制度が設けられており、当保育園は福祉サービスの第三者評価を既に実施し、その結果を公表している。また昨年度からは保育の質ガイドラインを活用し子どもの権利の尊重について自己チェックと反省を行っている。職員は日常の言動を相互に振り返り、人権に関する研修にも参加している。

苦情解決制度の透明性、保護者への情報周知、そして地域性の影響を考えている

利用者の意見や要望・苦情の把握の窓口の案内については、受付担当者、解決責任者を園のしおりや園の玄関に明記しており、苦情解決制度第三者委員者についても知らせている。保護者の第三者委員の認知度の調査結果として、職員アンケートでの自己評価は高く、利用者の66%も「知っている」と答えていた。地域性という課題はあるが、保護者への情報周知の面で、より一層の拡大に向けた検討が望まれる。利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないように、職員会議で振り返りが行われている。

園は透明で公正な組織づくりに取り組みながら、地域社会に貢献している

透明性を高めるために、区のホームページや第三者委員の導入、第三者評価の受審、事業所活動内容を開示するなど、開かれた組織づくりに取り組んでいる。園紹介としてはホームページ公開を行っているが、広く地域や近隣等に知ってもらうために園の活動をSNSで紹介している。地域子育て支援として家庭に対して子育て情報の提供や見学、希望者には体験、相談などを行っている。

4 カテゴリー4		
リスクマネジメント		
サブカテゴリー1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー4の講評		
<p>事業所は潜在的なリスクを積極的に管理し、事業の目標を阻害することを防いでいる。</p> <p>園でのヒヤリハットや小さなアクシデントを記録し、全職員が把握することで、危険な箇所や行動を周知し、次回は起こらないようにするという取組は、事故防止に対する強いコミットメントを示している。またアレルギーをのある子どもに対しても、調理担当者や看護師などの専門職員と情報を共有し、適切に対応していることは、子どもたちの安全と健康を最優先に考える姿勢を示している。さらに避難訓練や不審者訓練なども定期的に行い、各種マニュアルも整備していることから、事業所全体が危機管理に対する高い意識を持ち、具体的な行動をとっている。</p> <p>大規模災害と新型コロナウイルス感染症への対策をとっている</p> <p>大規模災害を想定した訓練やSIDS対策の見直しなど、災害時や事故への対応について対策を講じている。新型コロナウイルス感染症に加えて地震の際の備蓄品は避難場所の子どもと全職員の必要日数分を備蓄したりするなど、非常時への対応に関する対策を積極的に講じている。一斉配信システムを使用して家庭での防災の取組を啓発するなども行い、保護者への防災意識向上に向けて、引き取り訓練を行っている。今後はこれらの諸計画を統合した事業継続計画(BCP)の策定の取組に期待している。</p> <p>個人情報保護法に基づく情報保護と共有の取組が行われている</p> <p>個人情報保護法に対応した情報の保護・共有に関しては、保護者に対して重要事項説明の同意を書面にて交わしている。利用者の情報は個人ファイルとして事務所鍵付き書庫に保管保育室練にある個人情報記載のものは遅番が鍵付き書庫に保管し施錠し管理している。書類保管は5年とスマート書庫(外部預かり機能)に保管依頼している。また、個人情報保護規定を玄関に掲示している。情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、遵守に努めている。</p>		

カテゴリ-5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー5の講評

組織の人材確保と育成として採用活動と配置戦略の工夫を凝らしている

組織として求める人材、人員を確保するための採用活動は、社内に人事部を設け、近隣の養成校などに出向き、組織の魅力をアピールする活動を行っている。また、組織は、時期園長候補や主任候補の育成にも力を入れている。人材を育成することで、園の特色や園長の方針に合わせた適切な配置換えを可能としている。これは、欠員の補充だけでなく、組織として求める人材像、事業所の状況(利用者の特性、サービス提供の特性など)を踏まえた上で、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置を行っている。

地域社会主催の研修、職員の希望と育成の考慮、そして研修内容の共有が行われている

多くの研修受講の機会があり、種類として法人グループで企画する地域貢献活動・保育力向上・本部・園長・主任の各研修があり、区が開催するキャリアアップ研修、上級救命救急など園の策定した年間計画園の方針などに合わせた外部研修に参加している。園内研修を計画し園に必要、改善が必要な事柄を常に考え常勤、非常勤職員が参加している。研修内容は職員会議で報告され、報告書は回覧し周知している。

職員と子どもの成長を共有する明るい職場は働きやすい環境と人間関係を構築している

園は職場の環境の良さが子ども達にも影響するという考えのもと職員の働きやすさを念頭に運営に取り入れている。職員数も少人数の為、お子様の情報や様子も共有しやすく、全員で子どもの成長を見守り、保護者と共に喜びを共有している。職員同士の人間関係も良好なため、明るい職場となっている。近年、他県他園で起きている様々な問題点の情報を収集し自園に置き換えて自園に同じことが起きないようにしている。人間関係が継続して良好でチームワークの良さが常にいつでも職員がやりがいを持って明るくいられるように、これからも期待している。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

昨年度は、入園希望者が少ないことを重要課題として捉え、重点目標に、園の活性化の為、入園率80%を掲げた。昨年度の重点施策として、地域貢献活動を積極的に行い、参加者15名以上を目標に有意義な内容を考え入園につながるよう取り組んだ。その結果、重点目標に掲げたことが73%達成した。100%達成とならなかった原因として、9月に園長交替もあり前半に取組がなかったことや園長の方針の違いなども影響したことが考えられる。こうした一連の取組を検証し、今年度に向けて継続して子育て家族に情報を提供し、4月定員満員を目指して地域貢献活動に力を入れていくこととしている。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

入園希望者が少ないことを重要課題として捉え、具体的な数値目標を掲げて入園率の向上に取り組んだことは大いに評価したい。保育園体験や子育て相談、育児勉強会、地域の福祉施設交流、職業体験受け入れなどに取り組む、法人の理念・方針の具現化に努めている。地域社会に愛される園を目指し、挨拶活動を行い、子育て家庭への情報提供をSNSや園正面屋外掲示板などを活用して積極的に情報発信している。今後も地域に根ざした園として、小規模園の良さをアピールし、積極的な地域貢献活動を通じて成果を実感しながら、入園率の向上に効果的に取り組むことに期待したい。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

昨年度は、職員の離職率が高いことを重要課題として捉え、重点目標に、仕事にやりがいをもつ職員の働きやすい職場環境づくりを掲げた。昨年度の重点施策として、職員の意見を吸い上げ、環境を整えることに取り組んだ。その結果、重点目標に掲げたことが60%達成できた。目標に達しなかった原因として考えられることは、職員数7名中2名がそれぞれの理由で退職したことで離職率が40%となった。年度途中からの環境の見直しが不十分であったことが考えられる。継続して取り組み、次年度は離職のないように整備していきたいことを明らかにしている。こうした一連の取組を検証し、今年度は年度当初より職場環境の見直しを行い、継続して再度離職を防げるように拮げた取組に発展させている。

目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

職員の離職率が高いことを重要課題として捉え、重点目標に、仕事にやりがいをもつ職員の働きやすい職場環境づくりを掲げて取り組んでいる。離職には、一人一人理由が違うため、個人的な内容なのか、組織的な改善が必要なのかを精査し、職場の環境改善に取り組んでほしい。今回の第三者評価における職員自己評価結果からも組織マネジメント分野での評価に課題がみられた。なかでも職員と組織の能力向上の項目におけるキャリアパスは保育士のスキル向上、モチベーション向上、定着率向上、役割の明確化といった点でも重要となる。今後も離職率低下に向け、職員育成や良好な人間関係の構築、福利厚生充実など多方面からのアプローチを組織的に行っていくことに期待したい。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>利用希望者は園のホームページやSNS、パンフレットなどで園の情報を入手できる</p> <p>園は見学、体験利用、離乳食体験、行事参加などの情報を各種SNSやホームページに掲載して地域の保護者へ向けて発信しており、利用希望者は園に関する最新の情報を入手することができる。また、地域貢献活動の一環として近隣の小学校、中学校、高校及び養成校などに園の情報や学生の保育体験実施の案内などを送付して、広く地域の方にも園の情報を提供している。</p> <p>利用希望者からの問い合わせや見学の要望には丁寧に対応している</p> <p>利用希望者からホームページに問い合わせがあった際には、法人本部と連携して迅速に対応している。電話での見学希望者には日時や子どもの年齢、生活リズム、家族の状況などに配慮して個別の要望に応じた対応を心掛けている。見学時には入園ガイドを配布し、事前に聞き取りした要望や確認事項等に応じながら丁寧に対応している。体験利用なども実施しており、利用後には利用者アンケートを記入してもらい、利用者ニーズを把握するように努めている。</p>		

サブカテゴリ-2		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2の講評			
<p>事前の準備や丁寧な説明で園の取組への理解を深めている</p> <p>入園が決まった利用者には、個別面談の際に質問なども受けられるよう事前に入園関係の書類を郵送し、目通してもらっている。入園前説明会にて説明し不明点を質問形式でご理解いただいている。園は事前に書類を確認して頂くことで利用者も事前に不明点が見つかりやすく理解が深まると考えている。入園前に健康診断を行い、重要事項説明書や入園のしおりに沿って面談を行っている。健康面は以前しおりの中に入れていたが、わかりやすくするために健康のしおりを別紙にて作成し説明を行っている。</p> <p>子どもや保護者が新しい環境に負担なく慣れていけるよう、移行期間を設けている</p> <p>入園前の面談で家庭での様子や生活リズム、健診・予防接種の状況などを把握し、一人一人に沿った支援が行えるように体制を整えている。また、初めての母子分離や環境の変化を考慮し、保護者と子ども自身の為にも慣らし保育が重要であることを伝え、保護者の復職時期なども含めて可能な範囲で、短時間から保育を開始している。また、慣らし保育は親子で登園してもらって保護者にも園生活の流れや雰囲気を感じてもらおうと同時に、親子での関わり方を把握し、保育の参考にしている。</p> <p>子どもの転園や卒園は期待感を育む声かけと保護者への継続的なサポートを行っている</p> <p>転園や卒園が決まった子どもには次園に対して期待感わくわく感が持てる声かけを行い、子どもにはお別れ会や卒園式でメッセージを送っている。卒園してそのつながりが小学校に上がっても継続されることを願い、退園後や卒園後の育児相談などにも快く対応している。保護者にはメールなどで相談も受ける体制をとっている。</p>			

サブカテゴリー3		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	13/13
3 個別状況に応じた計画策定・記録			
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー3の講評			
保護者との連携を深めて個々の状況を把握し、記録に残すしくみを整えている 入園時の面談や送迎時のコミュニケーション、連絡帳などで子ども一人一人の生活状況や心身状況などを把握し、保育システムを活用した日誌に記録している。保護者からの要望も日誌や引継ぎ簿に記録し、状況を考慮して面談を行った際には面談記録にも残して、職員間で共有しながら日々の保育に反映させている。個々の成長や日々の保育対応の基盤となる指導計画は、年齢毎、書式毎に定められた時期に定期的に振り返っており、新たな計画を策定している。			
個々の成長や保育の方向性を保護者とも共有して保育にあたっている 保育所保育指針と法人の保育理念・方針・目標を反映した全体的な計画を基に、各種年間指導計画を綿密に策定し、月間指導計画や週案・日案は連動した書式を活用することで保育計画を日々の生活に反映しやすく工夫している。年間のクラス目標や子どもの様子は保護者会でも伝えているが、個々の成長や保育の方向性は個人面談にて保護者と共有している。面談を行う際には個人の記録や目標を参照にして行い、面談の結果も個人別指導案に反映している。			
子どもの様子を記録・共有するしくみを整えている 個々に関する日々の変化や出来事は昼礼にて職員間で共有し、園日誌や各クラスの日誌、視診表に記録している。また、乳児クラスには連絡帳が活用されているため、園や家庭での食事や睡眠、排せつ状況など日々の細かな情報まで保護者と共有しながら記録として保存している。さらに、一人一人の成長や発達の様子は定期的に個々の児童票に記載している。当園ではITやアプリを積極的に導入し、職員間で各種保育計画を共有しやすい環境が整えられている。			

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-5の講評			
<p>個人情報の適切な管理と子どもの羞恥心への配慮は日常的に取り組んでいる 日常の業務の中で必要となる個人情報の取扱いで外部への利用者照会等が必要となった際には、必ず園長が対応し、職員に依頼された場合でも報告を徹底している。また、保護者様への説明も十分に行い、同意を得てから行動するようにしている。当園では、一人一人の子どもが持つ羞恥心に対する配慮では、子どもの様子をよく観察し、その気持ちを理解した上で対応している。例えば、着替えの際には肌の露出時間をできるだけ短くするよう配慮し、おもらし等の事態が発生した場合でも、他の子どもに知られないように対応している。</p> <p>子ども一人一人を尊重し、虐待防止に取り組む保育の実践がなされている 子ども一人一人を尊重する保育は、子どもたちの価値観や生活習慣がそれぞれ異なることを認識し、その上で保育を行っている。集団生活において大切と思われることは、子どもたちに無理がないよう、慎重に声をかけている。虐待防止の取組では、チェックリストやマニュアルを作成し、確認している。早期発見が重要であることを認識し、一日一度は着替えの際に全身のチェックを行っている。また、園内研修も行っており、全職員で虐待防止に取り組んでいる。</p> <p>個々の理解と統一感を持つ保育として子ども一人一人を尊重した対応を共有している 保育所としての統一感と個々の理解として、「子ども一人一人を尊重する保育」という考え方が統一されており、これまでの生活習慣に配慮した上で、保育を実践している。子どものこれまでの生活の中で培われた個人の思想・信条や生活習慣等を理解し、その上で子どもの言動をどのように受け止め、保育をしているかを確認している。虐待や育児困難家庭等の現状や課題の把握面では、保育所としての重要性を共有している。職員に浸透させるための取組として、勉強会や研修会等を実施している。</p>			

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
6 事業所業務の標準化			
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当	
サブカテゴリ-6の講評			
提供しているサービスの基本事項や手引き等はマニュアルを整備し活用している 基本的な業務に関するマニュアルとして、感染症や衛生管理、不審者対応、水遊びや散歩、危機管理、虐待対応、事故防止、災害時のBCPなどの各種手順書を整備している。その他ミルクの作り方のフローチャートや職員ルールブックなどを作成しており、日常業務でわからないことが生じた際には主任や園長に確認し、問題点は迅速に事務所内の連絡ノートへ記入して、新しく共有すべき事柄、修正点など資料を添えて全職員で回覧して共有化に努めている。業務の中で再度の周知や修正が生じた場合には全体会議で伝達して、業務の標準化を図っている。			
サービス向上をめざし、標準的な業務水準を見直す取組を行っている マニュアルの見直しや修正は、基本的には行政の情報を重視して行っている。保育中や業務上の修正が必要になった際は、職員や主任にも意見を求め修正を行っている。その他、職員が園の状況に相応しくないと考えた際などにも職員間で積極的に意見を出し合い検討して見直しを行っている。保護者から要望や提案があった際には、内容を検討し運営上支障がない事柄については反映しており、難しい場合には保護者に理解していただけるよう丁寧に説明することを心掛けている。			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

		サブカテゴリ4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 35/35	
1	評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている	評点(00000)・非該当1	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		<input checked="" type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評			
<p>子ども一人一人が自分自身のペースで成長し、発達することを支えている</p> <p>保育士・看護師・栄養士が日々子どもたちを観察し、その情報を共有することで、子ども一人一人の現状を正確に把握し、それに基づいた保育を提供する取組は、非常に効果的である。子どもたちの発達過程や生活環境を理解することで、その子どもにとって最も適した保育を提供することが可能となる。また、それぞれの専門分野からの視点を持ち合わせることで、より幅広い視野から子どもたちを理解することができている。</p> <p>一斉保育と自由保育の適切な組み合わせによる自主性の尊重と成長支援を支えている</p> <p>一斉保育と自由保育を適材適所で取り入れることで、子どもたちが自分の思いや興味を尊重され、自分自身で選択する機会がある。子どもが自分で選んだ遊びや活動に関心を持つことで、より深く学び、成長することが期待できる。また、子どもたちが興味や関心を持って関われる環境をどのように考え、どのような工夫を行っているかに関しては、保育所の設備だけでなく、人的環境や物的環境に対する工夫、状況設定など、総合的な視点から子どもたちの環境を考えることで、子どもたち一人一人が自分自身のペースで成長し、発達することを支えている。</p> <p>インクルーシブ保育の理念の実践と特性に応じた援助の提供が行われている</p> <p>インクルーシブ保育の理念を理解し、それを具体的な保育の現場に落とし込むという取組は非常に重要であり、評価できる。特別な配慮が必要な子どもたちに対して、その特性に応じた適切な援助を提供することで、すべての子どもが自分らしく成長できる環境を整えている。また、保護者や専門家からの情報を適切に活用し、それを基に援助を行うというアプローチも、子ども一人一人のニーズに対応した保育を提供する上で重要である。このような取組を通じて、子どもたちが自然に関わりを持つ姿を伸ばすことができている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2の講評		
<p>登降園時は子どもの様子を保護者から聞いたり、保育園の様子を伝えたりしている</p> <p>登園時に子どもたちの視診を細かく行っており、小さな擦り傷についても確認し、申し送りボード兼健康観察ボードに記載している。子どもたち一人一人の状態を理解し、それに合った保育を提供するために、睡眠状況や食事の様子も確認し、それを保育の参照点としている。降園時は健康面や発達面、そしてその日のエピソードなどを伝えることで、保護者と保育所との間に信頼関係を築いている。また、顔の汚れや鼻水、衣服の乱れ、おむつの確認などを行っている。これらの情報を保護者へ伝えることで、保護者は子どもの一日の様子を把握することができる。</p> <p>子どもたちの成長と発達を支え、生活習慣を身につけることの大切さを伝えている</p> <p>園では、子どもたちが生活に必要な基本的な生活習慣を身につけるために、食事、排せつ、着替え、歯磨きなどの生活習慣について、子ども一人一人の発達状況に合わせて、その大切さを伝え、意欲的に身につけられるような援助や工夫を行っている。無理強いを避け、子どもの気持ちに寄り添いながら、興味や発達状況に合った関わりを心掛けていることが見受けられ、子どもたちは自分自身で生活習慣を身につけることができ、自立心を育んでいる。</p> <p>子どもの状況や年齢・発達に応じて、昼寝等の休息の長さや時間帯を調整している</p> <p>年齢により睡眠開始時間を変えたり、体調や前日の様子なども考慮しながら、無理強いしないように様子を見ながら関わっていくことが見受けられる。これにより、子どもたちは自分自身のペースで休息を取ることができ、健康的な生活リズムを保つようにしている。</p>		
3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもの自主的な遊びと集団活動は適切な環境設定と年齢に応じた援助を行っている</p> <p>集中して遊びこめる時間や空間は、玩具の棚を仕切りとしコーナーをつくり、絵本やパズルなども取りやすく手の届く場所に設置し、机上遊びコーナーのテーブルで遊んでいる。子どもたちは自分のペースで遊びを楽しんでいる。また、子どもが自ら集団に参加できるような援助としては、生活の中で0歳児から多く話しかけながら関わるようにしている。また、1、2歳児は見守りながら気持ちを汲み取り、発達の状況に合わせて気持ちを代弁したり、伝えることを促している。これにより、子どもたちは自分自身のペースで集団活動に参加することができる。</p> <p>子どもたちのコミュニケーション能力を育むためのステップとして取り組んでいる</p> <p>当園では、子どもの個別の状況に応じて、言葉により相手に自分の考えを伝えたり、相手の話をよく聞いたりするなど、子どもが言葉や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるように配慮している。子どもとの関わりの中で表情や行動から子どもの様子を観察し、わかりやすい言葉で代弁するなどしている。また、言葉を吸収する発達段階の際には、絵本を多く読み聞かせたり、物の名前や動物の鳴き声を伝えたりしている。さらに、カードなどを用いて物や物の名前を認識できるようにしている。</p> <p>保育所におけるルールの理解と身の回りの環境の変化を体験できるように取り組んでいる</p> <p>春は活動の活発な虫を見たり花を見たり、夏は水遊びで涼を感じたり、秋は落ち葉やドングリを見つけ拾ったり、冬は寒さも感じながら走ったり身体を動かすこと等が感じられるように計画して行っている。子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整することができるように、戸外遊びなどで簡単なルールを繰り返し伝えたり、室内では年齢や発達に応じて順番を待つことや手洗い、咳エチケットなどの簡単なルールを繰り返し伝えたりすることで、子どもたちは自主的にこれらの行動をできるようになるよう配慮している。</p>		

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>子どもたちが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組むことができる行事を行っている</p> <p>子どもも保護者にも楽しんで頂ける行事を行っている。0、1、2歳児でも興味を持てる内容で計画をしている。また、夏祭りやクリスマス、ハロウィンなどの行事は、導入として絵本を読み聞かせるなど行事に対して期待の気持ちが沸くような声掛けや装飾を行っている。これにより、子どもたちは自分自身のペースで行事に参加し、楽しむことができています。</p> <p>保育所における行事を通じた子どもたちの成長と学びに取り組んでいる</p> <p>ひとつのことを協力し合い、やり遂げることの喜びや楽しさを味わえるような行事は、成長の様子を保護者にお見せする簡単な発表の場を作ったり、食育を通してお手伝いしてきたクッキーを食べたり、食材の買い物をお手伝いするなどしている。保育所は子どもたちの協力と達成感を育むことができています。</p> <p>保育所における保護者の理解と協力を得るための配慮と工夫を取っている</p> <p>行事等の準備・実施にあたり、子どもの意欲を引き出すという観点から、保護者の理解や協力を得るために、保護者のご負担にならないように配慮している。参加協力に対し年間行事予定として年度の初めに日にお伝えするようにしている。また、兄弟や祖父母の参加希望があった時には、できるだけ希望に添える形を取っている。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>保育時間の長い子どもがくつろぎ、安心して過ごせる環境を考えて確保している</p> <p>保育時間の長い子どもがくつろぎ、安心して過ごせる環境として、長い時間の保育でも子どもたちの気持ちが沈まないように、そばについて関わっている。また、水分補給も行い、様子により睡眠をとるなど、個々の子どもに合わせた対応を行っている。これにより、子どもたちは自分自身のペースで安心して過ごすことができています。このような取組を通じて、保育所は長時間保育の子どもたちのくつろぎと安心を支えることができています。</p> <p>合同保育など保育形態が変化する中でも、子どもが楽しく過ごすための工夫をしている</p> <p>合同保育など保育形態が変化する中でも、子どもが楽しく過ごすために、特別な遊びを提供することで、お迎えは遅いけれども楽しいおもちゃが使えることや、先生との時間はたくさんお話できるといった気持ちの切り替えができるように関わっている。また、延長保育利用児は今のところいないが、子どもが少なくなってくると表情が暗くなる子もいるため、補うためにもたくさん話しかけたり、会話の中で楽しい話題を提供したり、関わりを多く持つようにしている。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(00000)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当	
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当	
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当	
●あり ○なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	○非該当	
評価項目6の講評			
<p>保育所における食事時間の配慮と工夫が行われている</p> <p>園の食事をとる最適な環境については、ゆったりとした時間配分で食事をするようにしている。それを実践するための工夫や配慮は、無理強いせず、本人の意思で食事を進めるようにしている。これにより、子どもたちは自分自身のペースで食事を楽しむことができる。このような取組を通じて、保育所は子どもたちの食事時間の配慮と工夫を支えている。今後もこのような取り組みを続け、子どもたちの健康と安全を確保していくことを期待している。</p> <p>食事は無理強いをせず食事が楽しいものとなるように配慮している</p> <p>自園在勤の管理栄養士が栄養価と味付けに工夫を凝らした献立を提供している。また、行事食や旬の食材を取り入れ、視覚にも楽しいものを提供している。これにより、子どもたちは自分自身のペースで食事を楽しむことができている。また、食育活動を月1度のペースで行っている。季節を意識した活動とし、食育計画を作成し取り組んでいる。これにより、子どもたちは自分自身のペースで食育活動を楽しむことができている。</p> <p>食事の安全性と栄養管理は、担任、栄養士、主任、園長の協力と個別対応で行っている</p> <p>安全な食の提供の為、担任、栄養士、主任、園長が関わり対応している。離乳食が思うように進んでいないときには必要に応じて栄養士が面談したり助言をしている。アレルギーのある子どもがいる際は、食器の色を変えたり座席を離すなどの対応をしている。食の情報提供として月に1度栄養士が給食だよりを保護者に配信している。離乳食のステップアップも担任や栄養士、園長、主任と保護者と相談の上、決定している。アレルギー食や献立未食食材も毎月確認し個別対応を行っている。体調不良に対しても保護者確認の上、調理方法の対応をしている。</p>			
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(000)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当	
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当	
評価項目7の講評			
<p>保育所における健康と安全教育は病気予防と健康維持のための指導と配慮が行われている</p> <p>保育所における子どもの健康と安全に対する配慮と教育は紙芝居や絵本を通じて病気やけがの予防や防止を伝えている。また、手洗いやうがいなどの方法を伝え、お昼寝でしっかり休息をとったり、食事から栄養をしっかりと摂ることで病気を防ぎ、健康な体を維持することを教えている。これらの教育は、0～2歳児でも分かるように配慮して行われている。</p> <p>子どもの健康維持の実施、乳幼児突然死症候群の予防や、感染症対応など行っている</p> <p>保育所における子どもの健康管理と保護者との連携については、紙芝居や絵本を通じて病気やけがの予防や防止を伝えている。また、0歳児は5分、1・2歳児は10分おきにタイマーを用いてプレスチェックを行い、顔色や呼吸状態、向きなどを観察している。さらに、健康診断の結果をアプリ内のすこやか手帳に記載し、保護者にも伝えている。これにより、子どもたちの健康管理が適切に行われ、保護者との連携も確保されている。</p>			

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>保育所における保護者同士の交流機会を提供している 保護者同士が交流できる機会は、行事後に保護者会を行い、交流の場としている。また、参加型行事をクラスごとに行う等、少人数制で気軽にコミュニケーションが図れるようにしている。これにより、保護者同士の交流が促進され、保育所と保護者との連携を深めている。</p> <p>保育所における保護者との連携は情報発信と体験を通じた共通認識に取り組んでいる 保育所における保護者との連携と共通認識の形成については、0～2歳児ではあるが、幼児期に育てほしい10の姿を伝えたり、SNSやアプリ内にて情報の発信や、職員の園内研修にて学んだ内容で子どもに関わる内容の際に配信やお便りにて情報発信を行っている。また、保育参加などで園の生活を体験してみることで、園での子どもの様子を見ていただくことや、園での活動や職員の対応間わりを見ていただく機会を作っている。</p> <p>保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている 保育時間は決まっても日々就労の様子は違うので保護者の要望や状況に合わせて対応している。子どもの成長は保護者との連携が大切だと考えているので保護者にできるだけ子どもの様子や園の取組を理解いただき協力して頂きたいと考えている。協力理解を頂くには信頼関係を築くことが大切だと考えている。保護者の対応も迅速に丁寧に行うことも信頼関係の構築に大事なことだと捉えている。</p>		
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>保育所は地域資源の活用と地域交流を支えることができる 子どもの発達の状態や状況を考慮して、地域のさまざまな資源を活用する機会は、公園や児童館を利用し、出会った地域の方々と積極的に交流を行っている。また、近隣の老人福祉施設などとの交流も計画している。新型コロナウイルスの影響で直接の交流が難しい場合は、ビデオレターを送って交流を深めている。これは、子どもたちの社会性を育むための重要なステップであり、保育所の質を高めるための要素となる。今後もこのような取組を続け、子どもたちの社会性を育てていくことを期待している。</p> <p>保育所の職員以外の人と交流する機会を、地域との友好的な関係作りと位置付けている 園における地域との交流と資源の活用については、連携園や近隣の子育て家庭に園庭を開放し、一緒に水遊びを楽しんでいただいている。また、勤労感謝の日などは近隣のお世話になっている福祉施設や交番に出向き、感謝の言葉を伝えるなど、地域に愛される園を目指す活動をしながら地域の資源を利用している。これにより、子どもたちは保育所の職員以外の人との交流を経験し、地域とのつながりを深めることができる。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-3-2	全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している
タイトル①	個々の子どもの育ちに合せた個別計画を月ごとに作成し保護者と共有している	
内容①	子どもの心身や生活の状況を日々の遣り取りや連絡帳システムを利用して保護者と共有し記録している。子どもの姿を踏まえて年齢別月間指導計画と全園児の個別計画を作成している。個別計画は保護者とアプリ内で共有できる仕組みとなっており、月の目標と配慮、反省評価と共に保護者に記載してもらい保護者要望欄を設けている。歩けるようになった子どもの「今」を家庭と園で大切にしていきたいことや自分のことを自分でやりたい子どもの気持ちを受け止めていくことなど、毎月大切にしたいことを共有し保護者と共に子どもの育ちを支えるものとなっている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	園生活において持ち物や準備など保護者の負担を軽減できるように配慮している	
内容②	法人の方針に、働く女性をサポートすることを掲げ、連絡帳アプリや「手ぶら登園」サービスの導入を行っている。手ぶら登園サービスでは、0～2歳児園として使用枚数も多いおむつとおしりふきの定額制サービスを導入しており、登園準備が楽になることや荷物が減ること、おむつ忘れがなくなることなどをメリットとして挙げている。連絡帳アプリの導入では、入力が便利になりいつでも子どもの様子が見られることや保育内容の把握が具体的に身近に感じることができるなど保護者の保育理解も深められている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目		
タイトル③		
内容③		

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子育て家庭に有益な情報を発信する役割を担う組織となるよう様々な情報発信を行い、SNSの活用などで具体的に子どもの育ちを伝えている
	内容	園は「地域の子育て家庭をサポートするために有益な情報交流発信の役割を担う組織を創造する」を保育方針の一つとして掲げSNSや園正面屋外掲示板などを利用して在園児の保護者と共に子育て家庭への情報提供を行っている。SNSでの情報発信は、地域の子育て家庭のヒントになるよう誰もが見られる形で提供しており季節を取り入れた遊びや子ども同士の関わり、野菜の皮むき体験やクッキー作りなどの食育の様子、制作活動、歯科指導やお買い物体験など多岐に渡り、様々な経験を通して子どもが育っていること、経験の大切さを具体的に伝えている。
2	タイトル	生きる力の根となる「食する力」が育まれるよう様々な食育を行い、子ども自身が主体的に生活を楽しむことを大切にしている
	内容	園は「生活のリズムをつかむ」「食べたいもの好きなものを増やす」「食事作りや準備に関わる」「みんなで楽しく食べる」を4つの期の目標とし、各年齢に合わせて経験させたいことや大切にしたいこと、保護者に伝えたいことなどを具体的に計画した食育年間計画を作成し、様々な実践を行っている。とうもろこしの皮むきなど食材に触れることや八百屋での買い物体験、ラップおにぎり作り、目で楽しむ行事食、食事の音や匂い温度に触れること、人と食べる楽しさなど子どもが主体的に食を楽しみ豊かな食生活の基礎となる経験が持てるよう取り組んでいる。
3	タイトル	天気の良い日は散歩に出かけ体を使った遊びや自然に触れ、地域の様々な人と触れ合うなど子どもが地域の中で育つことを大切にしている
	内容	「心豊かなエコ環境と優しい地域社会に生き生きと共存する子どもを育む」の保育理念のもと天気の良い日には散歩に出かけ近隣の児童館や公園を利用し地域の人との交流を積極的に行っている。お散歩マップを作成し近隣の豊かな自然に触れ、歩くことや走る、固定遊具などで身体をたくさん使って遊べるようにしている。老人福祉施設との交流や中学生の職業体験の受け入れなどでいろいろな年齢の人と関わり可愛がられる経験や近隣のお店の人との日々の会話、交番の警察官とのふれあいなどを通して子どもが地域の中で豊かに育つことを大切にしている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	キャリアパスと人材育成計画を職員に分かりやすく明示し、職員一人一人が長期的な展望が描ける筋道を分かるように示すことが望まれる
	内容	今回の職員自己評価の結果から、事業所が求める職責または職務に応じた長期的展望(キャリアパス)の周知と理解がやや低い傾向がみられる。職員一人一人が目ざす職位や職務に到達するまでに必要な業務経験やスキルをわかりやすく示し、受講すべき研修や資格取得などの明確化が望まれる。これらの人材育成計画が定着することにより、自分自身で将来像を描くことが可能となる。職員一人一人の育成計画が職責や職務内容と連動していくことにより、具体的な目標を持てるので、スキルの向上にも意欲的になると考えられる。
2	タイトル	目指す保育理念、ビジョン、基本方針、目標を実現するために、目標の達成度合いを測る指標を明示することを期待したい
	内容	園の保育理念、ビジョン、基本方針、目標を実現するために、3か年の中長期計画を策定し、令和5年度の事業計画を策定しているが、中長期計画と単年度の結びつきが更に明確になることに期待したい。中長期計画の着実な実行を考慮すると、達成に向けた具体的な手段や回数、頻度、割合などの数値目標(指標)、どのようなことをどのくらいの期間を設けて実施していくかについて再度考えてみてほしい。具体的な目標を職員間で共有しながら、PDCAの有効性をより高めて進めることが期待される。
3	タイトル	今後も、個人情報保護に関する職員の意識がより一層高められるような取組に期待したい
	内容	個人情報保護法に対応した情報の保護・共有に関しては、保護者に対して重要事項説明の同意を書面にて交わしている。利用者の個人情報は、施錠した書庫に保管して管理している。職員は、入社時に園で知り得た個人情報や社内の情報を漏洩しないように書面にて誓約を交わしている。個人情報の取り扱いについては、情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、遵守に努めている。今後も情報セキュリティに関する園内研修や個人情報保護セルフチェックなどを全職員に実施するなど、職員の意識がより一層高められるような取組に期待したい。